

関東教育学会

The Kanto Educational Research Society

第 73 回大会プログラム

2025 年 11 月 15 日(土)

創価大学 教育学部棟／大教室棟

大会スケジュール

9:30	10:00－12:00	12:00－13:00	13:10－14:00	14:10－17:00	17:10－19:00
受付	自由研究発表	理事会	総会	シンポジウム	情報交換会
教育学部棟 1階	教育学部棟 4階	教育学部棟 2階	大教室棟 2階	大教室棟 2階	教育学部棟 3階
エントランス	第1会場 401 教室 第2会場 402 教室 第3会場 403 教室 第4会場 404 教室	202 教室	S201 教室	S201 教室	303 教室
		お弁当 1階受付 (事前注文の会員のみ対象)			
会員休憩室 1階 102 教室					
協賛出版社販売ブース 1階エントランス(春風社、学文社)					

大会参加要項

会期	2025 年 11 月 15 日(土)
会場	創価大学教育学部棟／大教室棟 〒192-8577 東京都八王子市丹木町1丁目 236 午前 9 時 30 分開始
大会参加費	正会員 3,500 円 学生会員 1,000 円 臨時会員 3,500 円 ※本学会正会員・学生会員以外の方が、公開シンポジウムのみに参加する場合には、参加費は無料となります。
研究発表	個人発表 発表 20 分 質疑応答5分 共同発表 発表 30 分 質疑応答5分 ※発表に関する全体討論は、発表終了後に行います。
昼食	大会当日の学内食堂の営業はありません。 大会会場の近くにある購買部(創学サービス)は営業します。 <u>※事前参加申込フォームから、お弁当の注文を受け付けています(2025 年 10 月 31 日まで)。</u>
情報交換会	教育学部棟3階 303 教室において情報交換会を開催します。 会員の皆様との親交を深めたく、是非ともご参加いただけますと幸いです。 会員 5,000 円 学生会員 3,000 円 <u>※事前参加申込フォームから、情報交換会への参加を受け付けています(2025 年 10 月 31 日まで)。</u>
Wi-Fi 接続	Wi-Fi 接続には、Eduroam をご利用可能です。 ご利用にあたり、事前にご所属の大学で接続設定を行っていただく必要があります。
大会準備委員会	創価大学教育学部 牛田伸一研究室気付 住所 〒192-8577 東京都八王子市丹木町1丁目 236 E-mail kanto73taikaijunbi@gmail.com(大会専用) Tel. 042(691)4996(研究室)

交通手段のご案内

創価大学には JR 八王子北口、京王八王子駅から路線バスに乗って、約 15～20 分程度で到着します。以下の2つの行き先のバスのいずれかにご乗車ください。

- ・ 創価大正門東京富士美術館行き(ひよどり山トンネル経由便、八日町経由便の2つがあります)
- ・ 創価大学循環(ひよどり山トンネル経由便、八日町経由便の2つがあります)

「創価大正門東京富士美術館」のバス停で下車すると、会場までの距離が最短となります(徒歩5分以内)。

JR 八王子北口からの上記のバスは、12 時 15 分まで 14 番乗り場(北口の階段を下りて出口を左に進む)から、それ以後では 11 あるいは 12 番乗り場(北口の高架通路に進む)から出発します。

京王八王子からの上記のバスは、4番乗り場から出発します。

大会会場の受付開始に適切なバス(八王子駅北口発)の出発時間は以下の通りです。なお()内の数字は、京王八王子駅の出発時刻です。囲み線の部分は、相対的に短時間で到着する経路のバスを指します。

京王八王子駅／八王子駅北口→創価大正門東京富士美術館

7時	02(01)分、27(25)分、47(45)分
8時	<u>3(1)分</u> 、7(5)分、 <u>18(16)分</u> 、27(25)分、 <u>35(33)分</u> 、47(45)分、 <u>55(53)分</u>
9時	07(05)分、 <u>15(13)分</u>

創価大学正門東京富士美術館→八王子駅北口行き／京王八王子駅

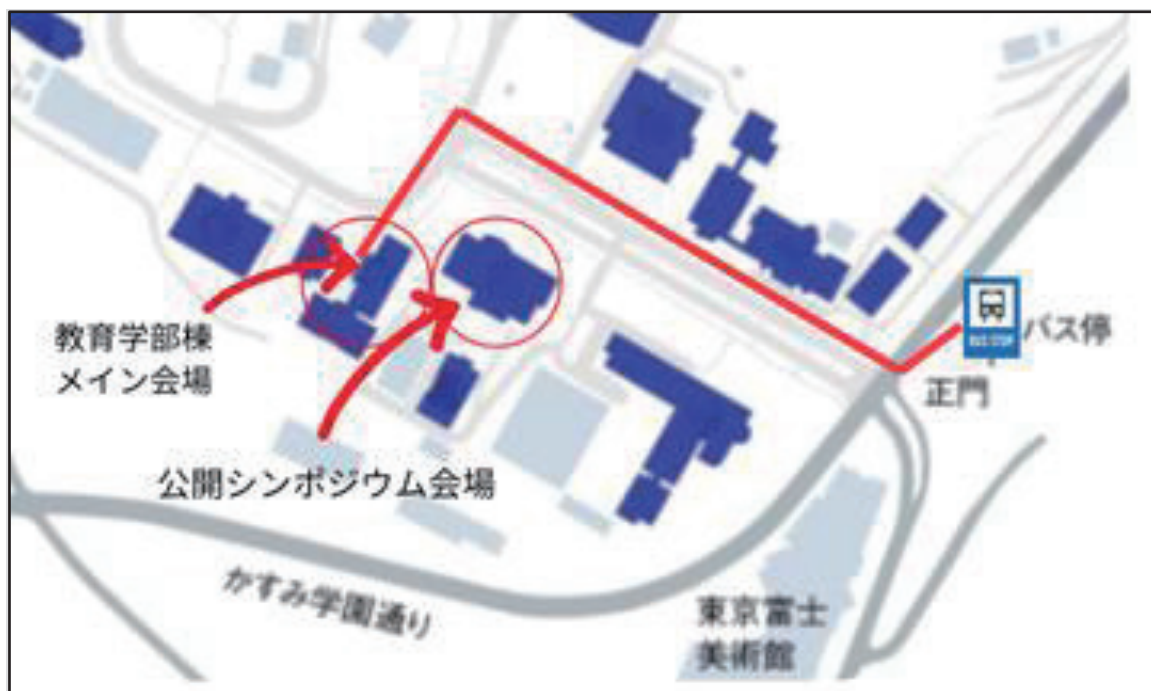
13 時	05 分、25 分、45 分
14 時	05 分、25 分、45 分
15 時	05 分、25 分、45 分
16 時	05 分、25 分、45 分
17 時	05 分、25 分、45 分
18 時	05 分、25 分、45 分
19 時	05 分、25 分、45 分
20 時	05 分、25 分、45 分
21 時	05 分、25 分

左の表は帰路のバスの時刻表です。

詳しい経路や時間帯については、下の QR コードから西東京バス HP をご覧ください。

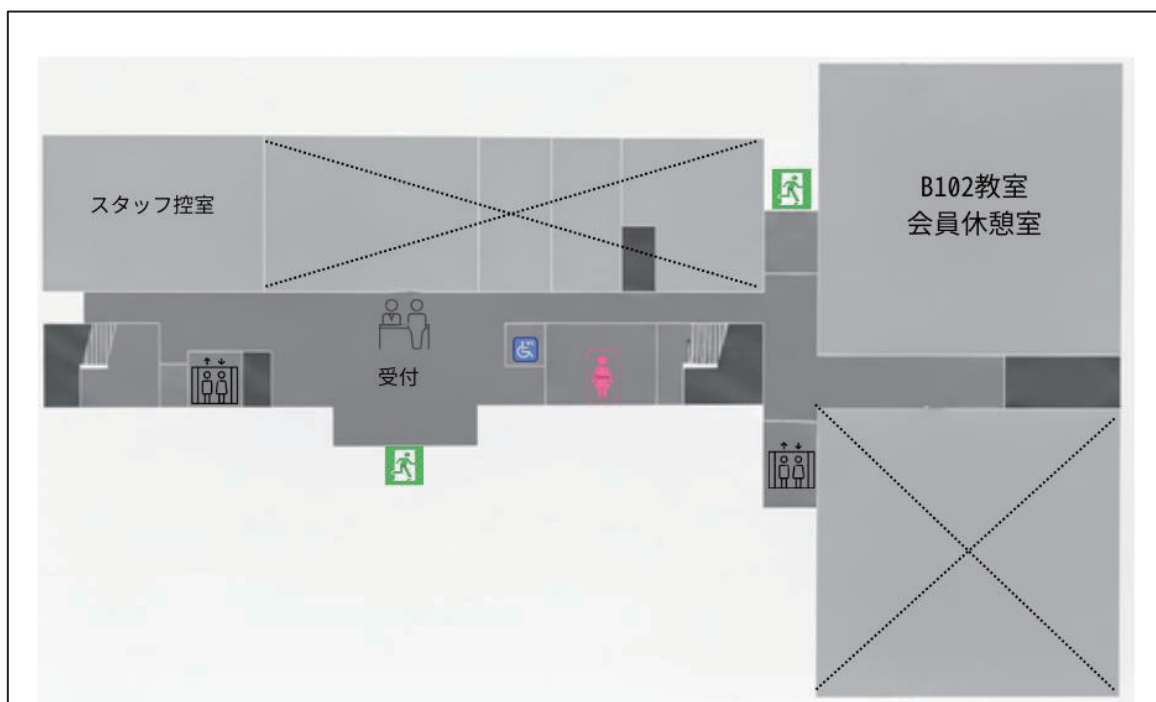


会場案内(創価大学教育学部棟)

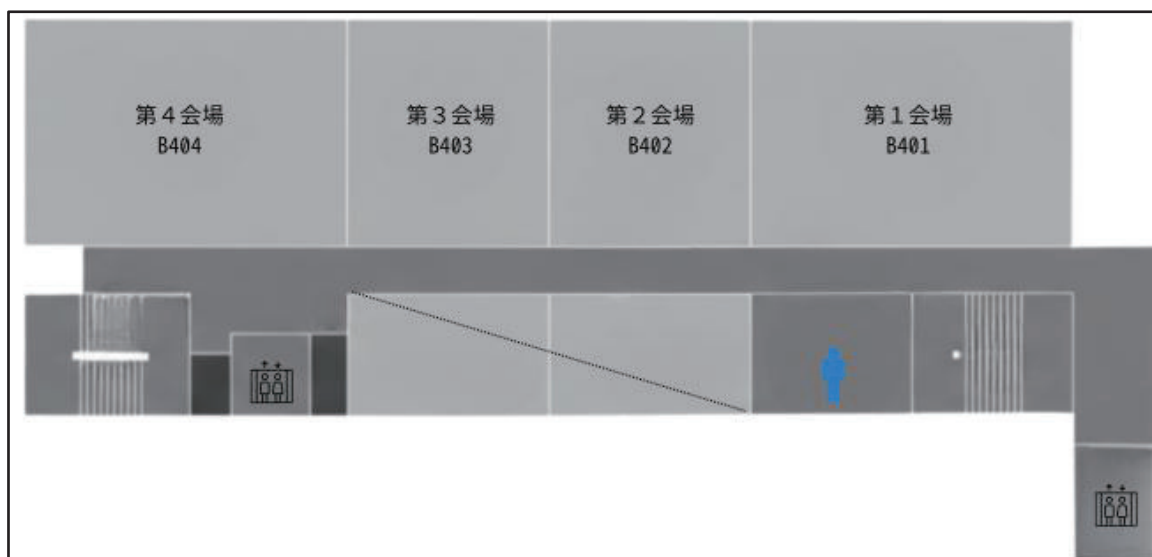


バス停「創価大正門東京富士美術館」で下車したのち、創価大学正門を通過して、目の前の緩やかな坂を上ります。坂を上って、突き当りを左に行くと、教育学部棟があります。

教育学部棟1階(受付、会員休憩室)



教育学部棟4階(自由研究発表会場)



大教室棟2階(総会、公開シンポジウム)



自由研究発表（10:00—12:00）

第1会場

教育学部棟4階 401教室

司会

鈴木 宏(上智大学) 藤井 佳世(横浜国立大学)

- (1) 10:00 「ケアする義務」を超えた関係性の構築はいかにしてなされるか
——ケアと信頼の中で生じる感情の考察を通して
川上 陽理(かわかみ ひかり、東京大学大学院)
- (2) 10:25 現代アメリカにおける高等教育費の高騰と教養からの逃走
——ウェンディ・ブラウンの政治思想に基づく「人的資本」論の再考
鈴木 泰樹(すずき たいき、日本大学大学院)
- (3) 10:50 子どもの自己変容としての学びのプロセス
——重松鷹泰における「人間らしさ」からみる子どもと教師の成長
龐 宇洋(ほう うよう、東洋大学大学院)
- (4) 11:15 冷笑の勝利
——竹内洋の教養主義論の学説史的・同時代的意義
松井 健人(まつい けん、東洋大学)

11:40～12:00 全体討論

第2会場

教育学部棟4階 402 教室

司会

谷本 宗生(大東文化大学) 村井 輝久(武蔵丘短期大学)

- (1) 10:00 宮坂哲文の生活指導論における規律と個性
——1950年代後半における仲間づくり論を中心に
相庭 貴行(あいば たかゆき、筑波大学大学院)
- (2) 10:25 「ジェンダーと教育」の研究の動向と課題の検討
——2018～2024年の国内の研究における対象・手法に着目して
山川 葵(やまかわ あおい、早稲田大学大学院)
- (3) 10:50 占領期の特殊教育政策において坂元彦太郎の果たした役割
阿部 アサミ(あべ あさみ、早稲田大学大学院)
- (4) 11:15 高等学校における通級指導の動向と課題
竹本 弥生(たけもと やよい、横浜薬科大学)

11:40～12:00 全体討論

第3会場

教育学部棟4階 403 教室

司会

下田 好行(前東洋大学) 山口 理沙(和光大学)

- (1) 10:00 H. Gudjons による一斉教授の再評価
——開かれた授業形態への統合構想の解明とその批判的検討
都甲 晴天(とごう せいま、筑波大学大学院)
- (2) 10:25 都道府県・市町村教育委員会による教員不足対策の多様性
——青森県の取組を踏まえて
沖 清豪(おき きよたけ、早稲田大学)
- (3) 10:50 イギリスにおける学校主導型制度の展開と教師教育政策
——マルチ・アカデミー・トラストにおける教師の養成・採用・研修に注目して
青木 研作(あおき けんさく、東京成徳大学)
- (4) 11:15 神奈川県 of 公立学校の教員需要に関する将来推計
○橋本 尚美(はしもと なおみ、日本大学文理学部人文科学研究所)
○島崎 直人(しまざき なおと、神奈川県教職員組合)

11:50～12:00 全体討論

第4会場

教育学部棟4階 404 教室

司会

鈴木 樹(鎌倉女子大学) 平岡 秀美(湘北短期大学)

- (1) 10:00 J・L・Mursell の音楽教育論の特質と現代的意義
——情操教育としての音楽科教育への応用可能性
白瀬 愛菜(しろせ まな、筑波大学大学院)
- (2) 10:25 MI 理論に基づいた中学校における授業実践の検討
——「個別最適な学び」への手掛かりとして
遠藤 秀聖(えんどう しゅうせい、早稲田大学大学院)
- (3) 10:50 古い童謡を使うには
浜田 朋昌(はまだ ともまさ、元公立小学校教員)
- (4) 11:15 ドイツのカリキュラムにおける指示用語(Operator)の分析
——バーデン＝ヴュルテンベルク州の数学科・地理科を事例として
○立花 有希(たちばな ゆき、宇都宮大学)
山本 隆太(やまもと りゅうた、静岡大学)

11:40～12:00 全体討論

テーマ 公教育における評価のオルタナティブ

——もう一つの評価を考える

2000 年以降、OECD による PISA 調査が導入されて以来、リテラシー測定は公教育においてほぼ自明の手続きとして定着してきた。教育の成果を「数値化」し、国際比較の中で序列を明らかにすることが、制度や政策の正当化の基盤とされてきた。しかしその一方で、教育における評価の基準が「測定可能性」によって規定されてしまうという逆転現象が進行していることは、多くの論者によって批判されてきた。ビースタの議論が象徴的に示しているように、本来問われるべき根本的な問い——「教育にとって何が価値あることなのか」「どのような経験を価値あるものとして尊重すべきか」——が、数値化できる範囲に従属させられている。

ただし、こうした批判的な言説においてすら、「評価＝測定」という構図を脱しきれていないことも否定できない。測定に基づく学力観を疑問視しても、議論が「どのように測定すべきか」という技術的な問題に制約されてしまうことが多く、評価の概念自体を問い直す契機とはなりにくい。結果として、教育の営みそのものが「測定の可能性」によって枠づけられ、子どもたちの成長や経験の複雑な側面が見えにくくなる危険がある。

今回の公開シンポジウムでは、こうした「評価＝測定」という支配的な枠組みを正面から問い直すことを目的としている。登壇者は関東教育学会、または日本教育学会の会員であり、その研究は単純な測定に還元することができない領域を扱っている。そこには数値化を前提としない評価の可能性が息づいている。子どもの活動をどう受けとめ、その成長をどのように理解するかという問いは、成績やスコアといった単純な指標では把握できない問題である。むしろ、その余白にこそ新たな評価の方向性が示唆されているのではないか。

本シンポジウムは、従来の「測定に依拠した評価」を超える視座を探り出す場として企画されている。芸術教育、道徳教育、幼児教育における多様な実践や研究成果を持ち寄り、「評価とは何か」「教育の営みをどのように捉えるべきか」という根源的な問いを改めて開くことで、公教育における評価の地平を更新していきたい。

【シンポジスト】

桂 直美（東洋大学、美的教育、ワークショップ）

小林 将太（大阪教育大学、道徳教育）

山本 孝司（西南学院大学、幼小接続カリキュラム、教育哲学・思想）

【コーディネーター・司会】

牛田 伸一（創価大学）

情報交換会 (17:10-19:00)

教育学部棟3階の 303 教室においてケータリング・サービスを利用した情報交換会を開催します。会員のみなさまの研究等に関する交流の機会として、是非ともご参加・ご活用ください。

「きく」教育研究のオルタナティブ
ドン・アイディの現象学的アプローチ
神林哲平 著

誰かの話し、奏でられた音、自然のそよぎ、私を呼ぶ声——教育をめぐる「きく」ことの
本質や構造といった諸様相とその意味を探究する。▼A5判上製・三六八頁・五〇〇〇円

モンテッソーリ教具の成立過程
セガンからフルヌヴィルを経てモンテッソーリへ
竹田康子 著

知的教育を導く際、教具を媒介とする援助により子どもの自己教育を可能にする方法
を打ち立てた、モンテッソーリの思想と意義を検討。▼A5判上製・二六〇頁・四〇〇〇円

教育による包摂／排除に抗する児童福祉の理念
児童自立支援施設の就学義務化から
高田俊輔 著

非行少年を対象とする入所型の児童福祉施設であり、少年院と児童養護施設の折衷を
担ってきた、児童自立支援施設の実践と変遷を探る。▼四六判上製・三二〇頁・四〇〇〇円

学校改革としてのイエナ・プラン
ペーター・ペーターゼンの自律的教育科学の構想を訪ねて
安藤和久 著

「自由で一般的な民衆学校」に向けた学校改革であるイエナ・プランと創始者ペーター
ゼンによる構想に立ち戻り、その理念と展開を追う。▼A5判上製・四一六頁・六三〇〇円

教授学への招待
教えることと学ぶことの科学的探究
エヴァルト・テアハルト 著
松田充、宮本勇一、熊井将太 訳

授業における教えと学びの関係をひもとく教授学理論は、学校や授業をどのように捉
え、どのような教師を育てようとしてきたかを問う。▼A5判上製・二六四頁・二九〇〇円

批判的思考と教育
還元主義学力論批判
ジョン・E・マクベック 著
渡部竜也 訳

ある主題／教科を教えることに伴う批判的思考がもたらす多様性を、その意味、論理学
的・認識論的な問題、論証や評価といった視点で解く。▼四六判上製・二七〇頁・四〇〇〇円

師範学校と図画教育
赤津隆助を事例として
増田金吾 著

戦前期における図画教育指導法を確立した赤津の思想と実践についてその足跡を
たどり、図画教育や教育のあるべき姿を追究する。▼A5判上製・四七四頁・八〇〇〇円

見ることを学ぶ
ジル・ドゥルーズの〈紋切り型との闘い〉
松枝拓生 著

見ることを学ぶという経験はなぜ重要か。多岐にわたるドゥルーズの思索から学習
において振り返りや気づきを持つ意味を解き明かす。▼四六判上製・三八頁・四〇〇〇円



評価が変わる、授業を変える

資質・能力を育てるカリキュラム・マネジメントとアセスメントとしての評価

定価 2,200円(本体 2,000円+税) A5判 224ページ ISBN 978-4-36181-9

現行学習指導要領下で求められる資質・能力の育成に向けた評価のあり方について、背景にある考え方や、カリキュラム・マネジメントに基づいて授業を変えていくための具体的な方法などをわかりやすく解説する。

- 現行学習指導要領下で求められる、資質・能力の育成に向けた授業と評価。その背景にある考え方や、授業を変えていくための具体的な方法などをわかりやすく解説。
- 学習指導要領の改訂によって変革期を迎えている日本の学校教育。これからの時代の学校教育に必要とされる、カリキュラム・マネジメントをもとにした授業のあり方と“支援”としての評価について、過去の制度や審議会における議論の変遷などもふまえて詳しく解説。さらに、それらを実現するための具体的な方法と実践例を掲載。
- 子どもたちに資質・能力を育成するためのカリキュラム・マネジメントを縦軸、その過程における教育活動を横軸に、評価と授業の関係性を明らかにする。

三省堂 〒102-8371 東京都千代田区麹町5-7-2 ☎03(3230)9411
<https://www.sanseido.co.jp/>

近代日本小学校教員検定制度史研究

—地方における試験検定・無試験検定制度運用と受験の実態—
 ●丸山剛史・井上恵美子・釜田史・白石崇人・大谷奨
 亀澤朋恵・内田徹 著 定価4,730円
 旧学制下における小学校・国民学校の教員資格を認定する
 小学校教員検定制度に関する歴史的研究。

大学における教員養成の未来

—「グランドデザイン」の提案— 定価2,640円
 ●日本教師教育学会 監修
 鹿毛雅治・勝野正章・牛渡淳・岩田康之・浜田博文 編著
 未来に生きる子どもたちの学校教育を担う教師のあり方を
 学術的に検討する。日本独自の教員養成モデルを提案。

「だれが教師をめざすのか」の教育社会学

—「観察による徒弟制」と教員養成— 定価2,970円
 ●太田拓紀 著
 若者が教職を選択し養成段階にいたるまでの過程と課題を検証。

校長のリーダーシップ

—日本の実態と課題— 定価3,300円
 ●浜田博文・諏訪英広 編著
 校長のリーダーシップ発揮を支え促す制度・組織的条件の在り方を追究。

早稲田教育ブックレット 教育最前線講演会シリーズとして行われた報告と討論をもとに構成したブックレット。

●早稲田大学教育総合研究所 監修 定価各 1,100円

③②「先生は忙しい」というけれど…それって先生の仕事? —フランスの教員の働き方を参考に考える

③③ AIは教育をどう変える? —可能性と課題を学際的に追究する

③④ 不登校問題と子ども・若者の「居場所」の現在 —不登校の子どもが生きる「社会」を拓く

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
<http://www.gakubunsha.com>



批判的思考指導の理論と実践 <電子版>

—アメリカにおける思考技能指導の方法と日本の総合学習への適用

●樋口直宏 著 定価7,150円 484頁
 教育方法学の立場からアメリカにおける批判的思考指導論について特徴を解明。
 ※ご購入方法等、詳しくは右記QRコードから、もしくは弊社WEBサイト
 (<https://www.gakubunsha.com/>)から検索。



人間の教育を求めて 第2版

—教育学概論— 定価2,750円
 ●大崎素史・坂本辰朗・井手華奈子・牛田伸一
 井上伸良 著

「教育」はこうなっているか、どうあるべきか。現在における
 教育状況に対しても、意識的に認識し、問題提起をしていく。



障害のある人びとの学びをどのようにデザインするか

●海老田大五朗 編著 定価2,750円
 特別支援教育の学びに必要な「学びのデザイン」の提示と方法論を精緻化。

教員志望学生の不安や悩みをどう理解するか

—現代アメリカにおける支援実践から— 定価3,740円
 ●太田知実 著
 多文化教育を基盤とする、現代アメリカの動向を手かりに問いを向き合う。

教師という希望

—一視覚障害教師の50年史—
 ●中村雅也 著 定価3,630円
 視覚障害教師の記憶を綴り、置き去りにされた事実を教育史に位置づける。

最新 よくわかる教育の基礎

●湯川次義・久保田英助・奥野武志 編著 定価2,530円

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
 E-mail: cigyo@gakubunsha.com



グローバル化と日本

〈グローバル・スタディーズ〉叢書 4

内海博文編著

A5・452頁・5280円

新自由主義に基づくグローバル化の限界が見えてきた。狂ったアメリカの関税、領土拡張する独裁者、国家ファーストの狂信、世界は2050年問題の前に日本の政治経済・労働・エスニシティとジェンダー・教育・科学技術・スポーツ・社会運動・環境・都市・災害・福祉・文化等、各領域でどのような変化がもたらされているかを16人の論客が見届ける。



近代日本学校教育の師弟関係の変容と再構築

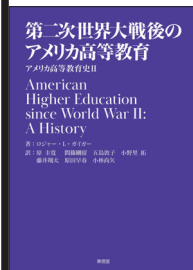
岩木勇作著 A5・312頁・4070円

「師」を尊敬する意味や関係性が近代学校教育の登場によって変わっていく。この師弟関係の変容からあるべき様態の再構築していくプロセスを歴史的に跡付けた挑戦的研究！！

芸術に根ざす授業構成論

デュイの芸術哲学に基づく理論と実践 桂直美著 A5・384頁・4070円

デュイの芸術哲学を出発点として20世紀前半からの芸術授業の展開を追いつつ課題を再考し、二者択一を超えた新たな授業構成の枠組みと、オルタナティブな教育実践のあり方を示す。「美的経験」そのものを目指す授業への方法を示唆した労作。



第二次世界大戦後のアメリカ高等教育 (II)

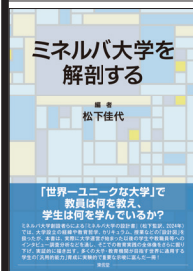
R・L・ガイガー著 原圭寛他訳 A5・528頁・7040円

I巻II巻合わせてアメリカ高等教育の400年間の制度と社会を俯瞰できる壮大なドラマ、比類なき通史。II巻目にあたり新たな用語解説やI巻『アメリカ高等教育史』の索引も同時収録。

人と社会をつなぐ評価

南浦涼介・三代純平・石井英真・中川祐治・佐藤慎司編著 A5・280頁・2970円

外国籍人口増加に伴い社会への接続が喫緊課題にある今、日本語教育は教室内の言語学習を超え、社会参加のための教育となる。数値化された学力だけでなく「ナラティブ評価」という新たな基準を提唱し、教育実践に繋げる書。



ミネルバ大学を解剖する

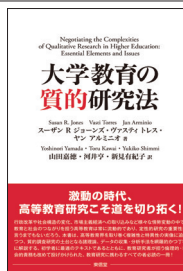
松下佳代編著 A5・328頁・3520円

世界の大学教育の常識を覆したミネルバ大学。その設立から十数年経った今、実際はどうか。大学目標をはじめ、カリキュラム、学習評価、授業、課外活動、教職員、学生の学び等、3年間のインタビューと訪問調査を通じて翻訳本『ミネルバ大学の設計書』と学生の成長を検証する。

大学教育の質的研究法

S・R・ジョーンズ、V・トルス、J・アルニコ著 山田嘉徳・河井亨・新見有紀子翻訳 A5・472頁・5280円

質的調査研究の土台となる諸理論、データの収集・分析手法を網羅的かつ丁寧に解説する。初学者に最適のテキストであるとともに、教育研究者が担う倫理的・社会的責務も改めて投げかけられた、教育研究に携わる関係者の必読の一冊。



奥村旅人著
A5・218頁・2970円

労働学校における生の充溢
A5・218頁・2970円

官邸主導時代の高等教育政策
A5・218頁・2970円

羽田貴史編著
A5・218頁・2970円

大塚豊著
A5・218頁・2970円

学長室の独り言
A5・218頁・2970円

早瀬博典著
A5・218頁・2970円

アメリカ社会科のインクルージョン理念と方略
A5・218頁・2970円

道徳編
A5・218頁・2970円

戦後国語教科書編
A5・218頁・2970円

田中智志・小国喜弘・田口康大編著
A5・218頁・2970円

日本の海洋教育の原点
A5・218頁・2970円

溝上慎一編著
A5・218頁・2970円

ラム・マネジメントの組織化に向けて
A5・218頁・2970円

学校教育目標のアセスメントとカリキュラム
A5・218頁・2970円

スクールポリシー
A5・218頁・2970円

越境する通信制大学 学びのゲームチェンジャー
A5・218頁・2970円

田口真奈・海川幸加・寺尾謙・鈴木克夫著
A5・218頁・2970円

インドネシアの少年非行と教育
国家・慣習・宗教からのアプローチ 神内陽子著 A5・548頁・9790円

群島国家かつ多民族・多宗教であるインドネシアの少年非行を巡る諸問題を切り口とし、国家法・慣習法・イスラーム法という多元的な法が交差する場で展開する非行の実態と更生に関わる教育的営みや更生する少年たちの姿を描いた挑戦的研究の書！

戦後台湾の英語教育
教科書にみる「文学性」と「政治・社会性」 平井清子著 A5・416頁・7920円

戦後台湾の英語教育の変遷を英語教科書から分析し、社会背景、教育政策や教育課程と関連づけて描いた画期的な学際的研究。教科書から豊かな人間性と思考力を育てながら英語運用力を育成する実相を提示する。

インドネシアの少年非行と教育
国家・慣習・宗教からのアプローチ 神内陽子著 A5・548頁・9790円

群島国家かつ多民族・多宗教であるインドネシアの少年非行を巡る諸問題を切り口とし、国家法・慣習法・イスラーム法という多元的な法が交差する場で展開する非行の実態と更生に関わる教育的営みや更生する少年たちの姿を描いた挑戦的研究の書！

戦後台湾の英語教育
教科書にみる「文学性」と「政治・社会性」 平井清子著 A5・416頁・7920円

戦後台湾の英語教育の変遷を英語教科書から分析し、社会背景、教育政策や教育課程と関連づけて描いた画期的な学際的研究。教科書から豊かな人間性と思考力を育てながら英語運用力を育成する実相を提示する。



〒113-0023 東京都文京区向丘 1-20-6
HP <http://www.toshindo-pub.com>
☎ 03-3818-5521 ☎ 03-3818-5514
✉ toshindo_onlineorder1985@gmail.com
✉ tk203444@fsinet.or.jp (代表)

* 博論書籍化、教科書等の出版相談は代表メールまで！